

授業科目 看護倫理学	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 後期
科目責任者 福井 幸子		
担当者 大西 香代子、福井 幸子		
<p>1. 科目のねらい・目標</p> <p>ヘルスケアの現場で看護職が直面する倫理的課題を把握し、倫理的意思決定能力を高めるために、倫理に関する基本的概念や理論を学び、倫理的課題への対応について探求する。また、看護職者として必要な研究における倫理的配慮について学ぶ。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理的感受性を高め、ヘルスケアの現場に存在する多様な倫理的課題について認識できる。 2. 倫理的分析と意思決定の方法を学び、看護を実践する中で遭遇する倫理的課題に対して課題解決に向けた行動について理解できる。 3. 人を対象とした医学研究や看護研究を行う際に必要な、倫理的配慮について理解できる。 		
<p>2. 授業計画・内容</p> <p>1) 授業計画</p> <p>第1-2回 生命倫理と看護倫理の定義・意義 [大西香代子] 生命倫理学が誕生した背景、生命倫理の原則、看護倫理とは何か、倫理的課題とは何か、看護専門職の責務としての看護倫理の意義</p> <p>第3-4回 看護における倫理的課題とその対応 [大西香代子] 看護実践上で倫理的課題に遭遇する場面、倫理的分析と意思決定</p> <p>第5-6回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [大西香代子] ①生命倫理に関する事例 ②終末期の意思決定に関する事例</p> <p>第7-8回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [大西香代子] ③がん告知、インフォームドコンセントに関する事例</p> <p>第9-10回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [大西香代子] ④高齢患者の看護に存在する倫理的問題</p> <p>第11-12回 倫理的分析と倫理的意思決定について：事例検討 [福井幸子] ⑤在宅医療を受けている患者並びに家族に存在する倫理的問題</p> <p>第13回 ケア倫理：事例検討 [福井幸子]</p> <p>第14-15回 看護臨床研究（治験を含む）における倫理的配慮 [福井幸子] 研究倫理が誕生した背景、研究の倫理指針</p> <p>2) 授業内容 学生によるプレゼンテーションを主体とした授業を行う。</p>		
<p>4. 成績評価方法 参加態度とレポート</p>		
<p>5. 受講要件 看護師免許を有する者</p>		
<p>6. 社会人学生に対する配慮 集中講義または土曜日開講、夜間開講を予定しています。</p>		
<p>7. その他 なし</p>		